



校長室だより

黒部市立荻生小学校
文責：校長 寺島紀子
令和4年6月22日
第12号

先週末は市内でのクマ情報が、全国的には熱中症や水の事故等、気になるニュースが相次ぎました。熱中症予防に関するマスクの着脱については直近の保健だよりをお読みください。また用水への転落事故は荻っ子にとっても他人事ではない可能性があり、十分気を付けたいところです。そしてさらには石川県能登地方での地震がありました。2回目の20日(月)はちょうど2限後の大休憩の時間帯でした。子供たちの命を預かる立場として、一瞬ヒヤッとしました。幸い揺れは小さく、校内での被害はありませんでしたが、今後も引き続き、いざという緊急の場合に備えたいと痛感しました。

備えを常に…地震の避難訓練を行いました

本校ではもともと21日(火)の2限に地震を想定しての避難訓練を予定していました。よって、ちょうどタイミングよく、というところ不謹慎ですが、前日と前々日の地震の体験を生かしながらの訓練となりました。当然どの子もふざけることなく、真面目な態度で行動し、避難指示の放送から約4分間で、全校がグラウンドに避難完了できました。

校長の講話としては次のようなことを話しました。

「世界でも地震の多い我が国では、防災のための科学技術が進み、実際の地震では、揺れを感じる数秒前にアラートを聞くことができるようになりました。アラートが鳴ってからのそのわずかな数秒間を有効に使って、揺れへの対応をしっかりと行いましょう。一人一人が自分の命を守る行動をとることが、結果としてみんなの命を守ることに繋がります。

日曜日からの地震をきっかけに、家でも地震のことについて話をした人がたくさんいてよかったです。登下校の時間帯も含め、いつ地震が起こるか分からないことを忘れず、日頃からよりよい避難行動をとれるようにしていきましょう。」

ぽかぽかの心で日々の生活を前向きに

児童玄関前には、今年の荻っ子が選んだ「ぽかぽか言葉」が出揃いました。お互いの心を優しく温かくする言葉を声に出してみるのももちろん、こうした心でお互いの姿を認め合えたら、毎日の学校生活がきっと前向きなものになるだろうなあとと思っています。

★小さいけれどすてきな「おめでとう」「すごいね」「ナイス」「ありがとう」

【その1】6年生が図工の時間に取り組んだ作品のうち、代表の子のものが職員室前に掲示されています。先日、たまたまその場で本人と遭遇したのでどのように描いたのか聞いてみると、「この部分は

こうやって…」と詳しく説明してくれました。思わず「すごいね」と言うと、「ありがとうございます。僕は図工が好きなので、ほめてもらえて嬉しいです…。」その素直な口ぶりがまた素敵でした。こちらこそ、ありがとう！

【その2】20日(月)のランチルームでのこと。私のすぐそばの席の1年生が、この日初めて給食を完食できました。「おめでとう！写真を撮るよ」の声に、胸を張りちょっとドヤ顔でキメてくれました。ふふふ…。かわいいですね。

【その3】17日(金)のフレンド集会では保健委員の発表が素晴らしかったです。当日急な役割変更のあった子もいましたが、それまでの練習を生かし、皆でフォローし合っていました。ナイス・チームワーク！

さまざまな場面で子供たちの成長を感じられるのが嬉しい毎日です。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想がありましたら、下に記入しご提出ください。



6/20(月)第1回学校評議員会

今年度の本校の学校評議員は以下の5名の皆様をお願いしています（市教委からの委嘱です）。

荻生小 学校評議員（敬称略）

- 松島 春男（自治振興会長）
- 前田 俊雄（公民館長）
- 柴 真理（荻生保育所長）
- 稲垣 伸寿（主任児童委員）
- 小野江兵輔（PTA会長）※新

今年度第1回目の評議員会では、会に先立ち委員の皆様が学校内を回って子供たちの様子を見ていただきました。その後、学校運営方針等の説明（校長及び教頭から）、重点課題「アクションプラン」の説明（知・徳・体 各担当者から）を行い、その後、各委員の方々からご意見をいただきました。

それぞれの立場から、コロナ禍においても学校と地域の交流、小学校と保育所の交流等を積極的に進めていきたいとのご意見を多くいただきました。「地域と共に進める学校づくり」の大きな力です。ありがとうございました。

なお、今年度のアクションプランの詳細につきましては今月末の学校だより「荻の里」に掲載しますので、ご覧ください。



シリーズ「教室におじゃまします」6/21(火)2年生活科の巻

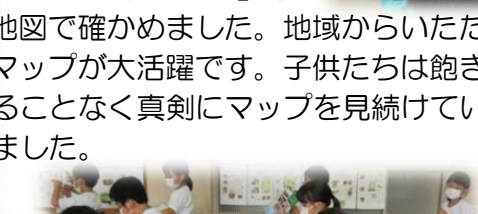
これまですでに各自の夏野菜を育ててきている2年生。教室には関連する資料や図書が効果的に準備されています。

この日はまず、各自の野菜の鉢に液肥を与える学習でした。長島先生の説明をしっかりと聞き取ろうとしている姿勢が伝わり、頼もしく感じました。

いざベランダへ出て、所定のバケツから液肥を各自のペットボトルじょうろに入れ、近くの友達と一緒に慎重に施肥をします。もうすでに1回以上は収穫できた子は5人ほど。あとの20人以上は「このトマト、もう少しで収穫できそう」「ぼくのナス、まだまだ小さいな」と、それぞれ愛おしそうに自分の野菜を見つめていました。う～ん、なるほど。成長の早い子も、ゆっくり育つ子も、自分の育てた子は何よりかわいい、これは野菜作りにも言えるのですね。

さて作業後はよく手を洗って教室へ。次は「まちたんけん」の話でした。来月に行く「うるおい4600ベルトパーク」を

地図で確かめました。地域からいただいている資料「水と緑豊かな郷 荻生」のマップが大活躍です。子供たちは飽きることなく真剣にマップを見続けていました。



★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想がありましたら、下に記入しご提出ください。

校長室だより第12号への感想

年 児童名